

施策の評価シート（令和5年度分）

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	01 子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード 010203
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ 48
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市教育振興ビジョン後期基本計画		
	担当部局		健康福祉部、教育委員会		
施策の内容(番号)		009		～	012

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価	今後の方向性	担当課
		選択区分	選択区分	
009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年(2019年)度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年(2020年)度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。	A	①	保育こども園課/こども家庭センター
010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。	A	①	保育こども園課/学校教育課
011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。	A	①	保育こども園課/学校教育課
012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。	A	①	保育こども園課/学校教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	公立幼稚園・保育所・認定こども園の管理・運営、民間認定こども園での子育て支援センター事業に対する補助、私立幼稚園・民間保育所・民間認定こども園等の運営経費の負担、幼稚園教員の資質向上のための園内研修や幼保相互派遣研修を計画どおり実施するとともに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を行うための園児・児童の交流活動や架け橋カリキュラムの作成や研修を行うなど、幼児教育・保育の充実に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり			
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203009	
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48	
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）					
	担当部局	健康福祉部、教育委員会					
施策の内容 （第2次基本計画） ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年（2019年）度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年（2020年）度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により 直接的に表れる効果	◆ 当初の 事業実施計画	実施 評価	
	担当課		誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業 評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の 方向性	
009-1	公立認定 こども園管 理運営事 業	公立認定こども 園の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受け ることができる	◆ 公立認定こども園の 全施設の適正管理	○	公立認定こども園6園の 施設管理について、光熱水 費の管理、備品購入及び 施設修繕等施設の管理、 運営を実施した。執行率は 96.74%で概ね達成したが、 報酬や共済費などで大きく 不足し流用するなどの対応 が必要であったため適正な 予算要求と管理に努めた い。
	誰		公立認定こども園を利用する児 童	◇ 公立認定こども園管 理運営事業の予算の 執行率(100%)	○		
	保育こども 園課		何	安心して教育・保育を受けられる よう教育・保育環境の向上を図る	527,788 (千円)	拡充・充実	
009-2	地域子育て 支援拠 点事業補 助金	民間認定こども 園での子育て支 援センター事業 の実施に対する 補助	効	子育て親子との交流、子育て等 に関する相談や情報提供を受け ることができる	◆ 民間事業者への適切 な支援の実施	◎	子育て支援センター担当 者連携会議での研修、交 流及び子育て支援コーディネ ーターの巡回訪問を通じ て、支援や連携強化を図 ることができた。また、年間利 用者数は、新型コロナウイル スの影響を受け、令和2 年度は29,861人まで減少し たが、令和5年度には 46,453人まで回復してい る。
	誰		乳幼児及びその保護者	◇ 利用者数	◎		
	こども家庭 センター		何	交流の場や相談を通じて、親の 孤独感や不安感の緩和につな がる	13,382 (千円)	現状維持	
009-3	民間認定 こども園運 営事業	民間認定こども 園運営経費の負 担	効	安心して教育・保育の提供を受け ることができる	◆ 補助市内17施設、市 外8施設	◎	民間認定こども園に対し、 施設型給付費を支払うと ともに、事業運営に応じた補 助金等を交付し、利用児童 に対し適正な保育環境を提 供しながら継続的な保育を 行うことができた。今後も継 続して支援を行う。 申請額＝交付額 (100%)
	誰		民間認定こども園を利用する児 童	◇ 事業運営に応じた負 担金・補助金等の申 請額に対する交付額 (100%)	◎		
	保育こども 園課		何	事業者の安定した園運営への支 援により、教育・保育環境の向上 を図る	2,488,272 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和5年度分)

009-4	民間認定 こども園施設整備事業	民間認定こども園施設整備に対する補助	効	民間認定こども園の施設整備により、教育・保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	◎	令和4年度から繰り越した事業は完了し、令和5年度からの新規事業は予定どおり進捗したため、◎とした。 今後も民間施設に対する支援が必要であるため現状維持とした。
	保育こども園課		誰	就学前児童のいる世帯	◇ 施設整備の実施率、進捗度合	◎	
			何	教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	233,674 (千円)	現状維持	
009-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
009-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
009-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があつたか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203010
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)、津市教育振興ビジョン後期基本計画(令和5年度～令和9年度)				
	担当部局	健康福祉部、教育委員会				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価		
	担当課		誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価		
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
010-1	公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の全施設の適正管理		○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.85%であり概ね達成したが、子育て支援センターのエアコンの突発的な故障などに対応したため本来修繕すべき箇所に手が回らなかったため予算の拡充が必要。
	誰		公立保育所を利用する児童	◇ 公立保育所管理運営事業の予算の執行率(100%)		○		
	保育こども園課		何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	936,286 (千円)	拡充・充実		
010-2	民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外10施設		◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額 (100%)
	誰		民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額(100%)		◎		
	保育こども園課		何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,685,971 (千円)	現状維持		
010-3	幼稚園管理運営事業	幼稚園の管理・運営	効	幼児期は生きる力の基礎が培われる重要な時期であるため、環境の充実を図ることにより質の高い教育を受けることができる	◆ 津市立幼稚園18施設の管理・運営		◎	幼児の遊びが充実するよう消耗品や幼児用図書等を配当し、環境整備を行うことで、適切な幼稚園の管理運営ができた。(予算の執行率 95.9%)園児数が少ない園では混合保育を行う等、適正規模の集団を確保し、地域の拠点園としての機能を果たす役割を担えるようにする。
	誰		津市立幼稚園の園児及びその保護者	◇ 幼稚園費(私立園等除く)の予算の執行率(95%以上)		○		
	学校教育課		何	津市立幼稚園の教育環境の充実	624,248 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

010-4	私立幼稚園援助事業	私立幼稚園運営経費の負担	効	私立幼稚園の運営経費の補助等を行うことによる教育環境の充実及び保護者の負担軽減	◆ 私立幼稚園6園、国立幼稚園1園への補助等	◎	私立幼稚園や国立幼稚園の保護者に対して、子ども・子育て支援法に基づく支援や私立幼稚園の運営経費の補助を行い(予算の執行率 98.9%)、教育環境の充実を図った。保護者の経済的負担の軽減につなげることが出来たので、引き続き継続していく。
			誰	私立幼稚園の園児及びその保護者	◇ 私立幼稚園等への補助金・負担金の予算の執行率(95%以上)	◎	
	学校教育課		何	私立幼稚園等の教育環境の充実、保護者の負担軽減	456,554 (千円)	現状維持	
010-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
010-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
010-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さるなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり			
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203011	
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48	
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)、津市教育振興ビジョン後期基本計画(令和5年度～令和9年度)					
	担当部局	健康福祉部、教育委員会					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。					

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
011-1	公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の全施設の適正管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.85%であり概ね達成したが、子育て支援センターのエアコンの突発的な故障などに対応したため本来修繕すべき箇所の手が回らなかったため予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 公立保育所管理運営事業の予算の執行率(100%)	○	
	保育こども園課		何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	936,286 (千円)	拡充・充実	
011-2	民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外10施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額 (100%)
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額(100%)	◎	
	保育こども園課		何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,685,971 (千円)	現状維持	
011-3	公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の全施設の適正管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.74%で概ね達成したが、報酬や共済費などで大きく不足し流用するなどの対応が必要であったため適正な予算要求と管理に努めた。
			誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 公立認定こども園管理運営事業の予算の執行率(100%)	○	
	保育こども園課		何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	527,788 (千円)	拡充・充実	

施策の内容評価シート(令和5年度分)

011-4	民間認定 こども園運 営事業	民間認定こども 園運営経費の負 担金	効	安心して教育・保育の提供を受 けることができる	◆ 補助市内17施設、市 外8施設	◎	民間認定こども園に対し、 施設型給付費を支払うと ともに、事業運営に応じた補 助金等を交付し、利用児童 に対し適正な保育環境を提 供しながら継続的な保育を 行うことができた。今後も継 続して支援を行う。 申請額＝交付額（100%）
	保育こども 園課		誰	民間認定こども園を利用する児 童	◇ 事業運営に応じた負 担金・補助金等の申 請額に対する交付額 (100%)	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支 援により、教育・保育環境の向上 を図る	2,488,272（千円）	現状維持	
011-5	幼稚園教 育推進研 究事業	教員の資質向上 のため、園内研 修や幼保相互派 遣研修の実施、 研修会や公開保 育実践研究会へ の参加	効	質の高い幼児教育を行うための 研修の充実による教員の資質向 上	◆ 津市立幼稚園18園の 園内研修・幼保相互 派遣研修の実施	◎	津市立幼稚園18園を含む 市内の幼稚園等の研修の 充実に向けて、幼児教育ア ドバイザー等が各園に訪問 し、研修の助言、指導を行 い、教員の資質向上を図っ た。幼稚園と保育所等の教 職員22人が、相互派遣研 修を行い、互いの保育、教 育内容についての理解や 学びの共有を行い、乳幼児 教育の専門性を高めた。
	学校教育 課		誰	幼稚園児及びその保護者	◇ 幼児教育アドバイ ザー等の派遣による 津市立幼稚園18園の 研修実施	◎	
			何	幼児教育の質の向上、幼児教育 の推進	1,997（千円）	拡充・充実	
011-6	私立幼稚 園援助事 業	私立幼稚園運営 経費の負担	効	私立幼稚園の運営経費等を負担 することで、幼児教育の質の向 上及び教員の資質向上	◆ 私立幼稚園6園、国 立幼稚園1園への補 助等	◎	研修会に係る費用等の補 助や幼稚園教諭の処遇改 善のための補助等、運営 経費の補助を行うことによ り、私立幼稚園の幼児教育 の質の向上と振興につな がった。（予算の執行率 98.9%）今後も、円滑な園 運営と教員の質の向上に 向けた支援を継続してい く。
	学校教育 課		誰	私立幼稚園等の園児及びその保 護者	◇ 私立幼稚園等への補 助金・負担金の予算 の執行率(95%以上)	◎	
			何	幼児教育の充実、教員の資質向 上	456,554（千円）	現状維持	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さるなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・ 事業評価を 根拠とした 「施策の内 容」 の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の 内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるた め、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成である が、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成では ないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、 抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				
今後の 方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203012
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)、津市教育振興ビジョン後期基本計画(令和5年度～令和9年度)				
	担当部局	健康福祉部、教育委員会				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
012-1	公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の全施設の適正管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.85%であり概ね達成したが、子育て支援センターのエアコンの突発的な故障などに対応したため本来修繕すべき箇所の手が回らなかったため予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 公立保育所管理運営事業の予算の執行率(100%)	○	
	保育こども園課		何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	936,286 (千円)	拡充・充実	
012-2	民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外10施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額 (100%)
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額(100%)	◎	
	保育こども園課		何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,685,971 (千円)	現状維持	
012-3	公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の全施設の適正管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.74%で概ね達成したが、報酬や共済費などで大きく不足し流用するなどの対応が必要であったため適正な予算要求と管理に努めた。
			誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 公立認定こども園管理運営事業の予算の執行率(100%)	○	
	保育こども園課		何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	527,788 (千円)	拡充・充実	

施策の内容評価シート(令和5年度分)

012-4	民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外8施設	◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額（100%）
	保育こども園課		誰	民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額（100%）	◎	
012-5	幼稚園教育推進研究事業	小学校教育への円滑な接続を行うため、園児・児童の交流活動や合同研修会の実施、接続期カリキュラムの検討	効	架け橋期カリキュラムの検討を行い、幼児教育と小学校教育の充実が図られることで、園児、児童の学びにつながる	◆ 津市架け橋プログラム研修会を6回・4つのモデル小学校区による津市架け橋期カリキュラムの作成	◎	4つのモデル小学校区の公私立の園、校の教職員が協働して架け橋期カリキュラムを作成した。更に、公私立の園、校の教職員を対象に、津市架け橋プログラム研修会を6回実施し、取組における理解と意識向上を図った。令和6年度は全小学校区で架け橋期カリキュラムを作成し、教育の改善、充実を図る。
			誰	未就学児と児童及びその保護者	◇ 津市架け橋プログラム研修会の実施	◎	
	学校教育課		何	園児及び児童の発達の連続性を見通した資質・能力の育成	105（千円）	拡充・充実	
012-6	幼稚園教育推進研究事業	幼児期の豊かな心を育むため、劇・音楽等の鑑賞、地域の方や外部講師を招いた取組、絵本の読み聞かせ等を実施	効	心を動かす劇・音楽鑑賞等の体験活動を実施することで、幼児の豊かな感性が育まれる	◆ 津市立幼稚園18園におけるゲストティーチャー等による体験活動を各4回実施	◎	園外保育や地域の方との交流を通して、豊かな体験を積んだ。 また、ゲストティーチャーを各園で4回ずつ招聘し、音楽鑑賞絵本の読み聞かせ、陶芸体験等、心を揺り動かす様々な体験活動を通して、豊かな心を育む幼児教育の充実を図った。
			誰	幼稚園の園児及びその保護者	◇ 各園におけるゲストティーチャーを招聘した回数と内容の充実	◎	
	学校教育課		何	園児のウェルビーイングの実現に向けた豊かな感性や表現力、非認知能力等の育成	979（千円）	拡充・充実	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さるなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

